

けやきの風

日本共産党湖北台
後援会連絡所
早川 7149-0322
小野 7187-0203
鈴木 7139-3421

「戦争か、平和か」

歴史的岐路の年をどうたたか

「戦争か、平和か」—歴史的岐路の年をどうたたかうか 志位委員長新春インタビューのはじめの部分です（聞き手は小木曾陽司・赤旗編集局長）。

「岸田内閣の大軍拡を許さない」この一点で力あわせ国民的大運動を

小木曾 今年の新春インタビューは、「戦争か、平和か」というテーマにしぼってお話をうかがいます。

志位 昨年2月に、ロシアによるウクライナ侵略が開始されました。日本共産党は、ロシアの行動を国連憲章を蹂躪した暴挙と批判し、「国連憲章を守れ」の一点で国際社会の包囲を、と訴え続けてきました。

重大なことは、ロシアの暴挙に乗じて、ユーラシア大陸の東と西で軍事ブロックの強化と大軍拡の逆流が起こったということです。（略）

かなぐりすてる

「専守防衛」の暴走

日本では、12月に「安保3文書」—国家安全保

障戦略、国家防衛戦略、防衛力整備計画の閣議決定が強行されるなど、「専守防衛」を完全にかなぐりすてる「戦争国家づくり」の暴走が始まっています。

ただ、世界の流れを大局で見ると、危機のもとでも、外交と理性の力で平和をつくらうという流れもたしかながりを見せています。

ロシアの侵略を国連憲章違反と断罪する国連決議が3回にわたって140カ国以上が賛成して採択されました。昨年6月には、核兵器禁止条約の第1回締約国会議がウィーンで開かれて大きな成功をおさめ、禁止条約が国際法のたしかな一部として力を発揮しだしています。

東南アジア諸国連合（ASEAN）を中心とした平和の流れが、危機のなかでも「対話と協力を築く」という着実な歩みを進めています。ヨーロッパでも大軍拡と軍事ブロックの強化という大逆流に屈しない、左翼・



手賀沼排水路からの初富士山

※湖北台後援会「けやきの風」のコースは、読者のみなさんのカンパで発行しています

進歩政党が健闘しています。そして、日本でも、大軍拡を許さない新しい市民的・国民的運動が開始されています。これまでにない広範な方々が「こんな道は許さない」という声をあげ始めています。今年は、世界でも日本でも、「戦争か、平和か」が問われる歴史的な年になると思います。「岸田政権の大軍拡を許さない」この一点で力をあわせ国民的大運動をつくっていきたくないと決意しています。（略）

昨年ロシアによるウクライナ侵攻にはじまり、国内では参議院選挙による与党の圧勝も束の間、底なしの様相を呈している。新年あけましておめでとうございませう。皆様のお力を借ります。

後援会の皆様のお力を借ります。お借りの際は、お名前と住所を明記の上、お送りください。お申し込みは、お電話またはおメールでも構いません。

昨年ロシアによるウクライナ侵攻にはじまり、国内では参議院選挙による与党の圧勝も束の間、底なしの様相を呈している。新年あけましておめでとうございませう。皆様のお力を借ります。

後援会の皆様のお力を借ります。お借りの際は、お名前と住所を明記の上、お送りください。お申し込みは、お電話またはおメールでも構いません。

戦後安保政策の大転換

安保法制が敷いた危険な道を、これまでの制約を踏み越えて、全面的に推進する

を担う自衛隊の能力を抜本的に強化し、国家総動員体制をつくるのだと宣言しているのです。

小木曾 「安保3文書」が「戦後の安保政策」の大転換と言われている意味は。

志位 そうです。安保法制は集団的自衛権行使に道を開いたわけですが、実際に行使するとなると大きな制約がありました。（略）

志位 「大転換」というのは、「安保3文書」が自分で言っていることです。「安保3文書」は、

今度、敵基地攻撃能力を保有する—米軍と一体に相手国に攻め込むための能力を持つことになる。安保法制が敷いた危険な道を、これまでの制約を踏み越えて、全面的に推進する。これが「安保3文書」が目指すものです。（全文は2023年1月1日付、日刊赤旗、または中央委員会ウェブサイト）○・

今度、敵基地攻撃能力を保有する—米軍と一体に相手国に攻め込むための能力を持つことになる。安保法制が敷いた危険な道を、これまでの制約を踏み越えて、全面的に推進する。これが「安保3文書」が目指すものです。（全文は2023年1月1日付、日刊赤旗、または中央委員会ウェブサイト）○・

今度、敵基地攻撃能力を保有する—米軍と一体に相手国に攻め込むための能力を持つことになる。安保法制が敷いた危険な道を、これまでの制約を踏み越えて、全面的に推進する。これが「安保3文書」が目指すものです。（全文は2023年1月1日付、日刊赤旗、または中央委員会ウェブサイト）○・

今度、敵基地攻撃能力を保有する—米軍と一体に相手国に攻め込むための能力を持つことになる。安保法制が敷いた危険な道を、これまでの制約を踏み越えて、全面的に推進する。これが「安保3文書」が目指すものです。（全文は2023年1月1日付、日刊赤旗、または中央委員会ウェブサイト）○・

今度、敵基地攻撃能力を保有する—米軍と一体に相手国に攻め込むための能力を持つことになる。安保法制が敷いた危険な道を、これまでの制約を踏み越えて、全面的に推進する。これが「安保3文書」が目指すものです。（全文は2023年1月1日付、日刊赤旗、または中央委員会ウェブサイト）○・

今度、敵基地攻撃能力を保有する—米軍と一体に相手国に攻め込むための能力を持つことになる。安保法制が敷いた危険な道を、これまでの制約を踏み越えて、全面的に推進する。これが「安保3文書」が目指すものです。（全文は2023年1月1日付、日刊赤旗、または中央委員会ウェブサイト）○・

今度、敵基地攻撃能力を保有する—米軍と一体に相手国に攻め込むための能力を持つことになる。安保法制が敷いた危険な道を、これまでの制約を踏み越えて、全面的に推進する。これが「安保3文書」が目指すものです。（全文は2023年1月1日付、日刊赤旗、または中央委員会ウェブサイト）○・

今度、敵基地攻撃能力を保有する—米軍と一体に相手国に攻め込むための能力を持つことになる。安保法制が敷いた危険な道を、これまでの制約を踏み越えて、全面的に推進する。これが「安保3文書」が目指すものです。（全文は2023年1月1日付、日刊赤旗、または中央委員会ウェブサイト）○・

今度、敵基地攻撃能力を保有する—米軍と一体に相手国に攻め込むための能力を持つことになる。安保法制が敷いた危険な道を、これまでの制約を踏み越えて、全面的に推進する。これが「安保3文書」が目指すものです。（全文は2023年1月1日付、日刊赤旗、または中央委員会ウェブサイト）○・

今度、敵基地攻撃能力を保有する—米軍と一体に相手国に攻め込むための能力を持つことになる。安保法制が敷いた危険な道を、これまでの制約を踏み越えて、全面的に推進する。これが「安保3文書」が目指すものです。（全文は2023年1月1日付、日刊赤旗、または中央委員会ウェブサイト）○・

今度、敵基地攻撃能力を保有する—米軍と一体に相手国に攻め込むための能力を持つことになる。安保法制が敷いた危険な道を、これまでの制約を踏み越えて、全面的に推進する。これが「安保3文書」が目指すものです。（全文は2023年1月1日付、日刊赤旗、または中央委員会ウェブサイト）○・

今度、敵基地攻撃能力を保有する—米軍と一体に相手国に攻め込むための能力を持つことになる。安保法制が敷いた危険な道を、これまでの制約を踏み越えて、全面的に推進する。これが「安保3文書」が目指すものです。（全文は2023年1月1日付、日刊赤旗、または中央委員会ウェブサイト）○・

今度、敵基地攻撃能力を保有する—米軍と一体に相手国に攻め込むための能力を持つことになる。安保法制が敷いた危険な道を、これまでの制約を踏み越えて、全面的に推進する。これが「安保3文書」が目指すものです。（全文は2023年1月1日付、日刊赤旗、または中央委員会ウェブサイト）○・

今度、敵基地攻撃能力を保有する—米軍と一体に相手国に攻め込むための能力を持つことになる。安保法制が敷いた危険な道を、これまでの制約を踏み越えて、全面的に推進する。これが「安保3文書」が目指すものです。（全文は2023年1月1日付、日刊赤旗、または中央委員会ウェブサイト）○・

今度、敵基地攻撃能力を保有する—米軍と一体に相手国に攻め込むための能力を持つことになる。安保法制が敷いた危険な道を、これまでの制約を踏み越えて、全面的に推進する。これが「安保3文書」が目指すものです。（全文は2023年1月1日付、日刊赤旗、または中央委員会ウェブサイト）○・

今度、敵基地攻撃能力を保有する—米軍と一体に相手国に攻め込むための能力を持つことになる。安保法制が敷いた危険な道を、これまでの制約を踏み越えて、全面的に推進する。これが「安保3文書」が目指すものです。（全文は2023年1月1日付、日刊赤旗、または中央委員会ウェブサイト）○・

今度、敵基地攻撃能力を保有する—米軍と一体に相手国に攻め込むための能力を持つことになる。安保法制が敷いた危険な道を、これまでの制約を踏み越えて、全面的に推進する。これが「安保3文書」が目指すものです。（全文は2023年1月1日付、日刊赤旗、または中央委員会ウェブサイト）○・

今度、敵基地攻撃能力を保有する—米軍と一体に相手国に攻め込むための能力を持つことになる。安保法制が敷いた危険な道を、これまでの制約を踏み越えて、全面的に推進する。これが「安保3文書」が目指すものです。（全文は2023年1月1日付、日刊赤旗、または中央委員会ウェブサイト）○・

今度、敵基地攻撃能力を保有する—米軍と一体に相手国に攻め込むための能力を持つことになる。安保法制が敷いた危険な道を、これまでの制約を踏み越えて、全面的に推進する。これが「安保3文書」が目指すものです。（全文は2023年1月1日付、日刊赤旗、または中央委員会ウェブサイト）○・

街路樹

ウクライナの住宅など建造物が砲撃で瓦礫化している。負傷者や死者の映像で戦争の残酷さ、残酷さに衝撃を受けた方が多いと思います。9月時点は73兆円を超えているという▼台湾有事でアメリカが軍事介入すれば、その出撃拠点にグアムの米軍基地が使用される▼デニー沖縄県知事が「戦争を起させるな」と声高く訴えているのは、最大の米軍基地を持つ沖縄が再び戦場になることは必至だからです▼アメリカのペンタゴンとシンクタンクは米中の戦争のシミュレーション「ウォーゲーム」を18回も実施して（孫崎享著「平和を創る道の探求」）米側の基地不足がわかったため、石垣島・宮古島・与那国島・奄美大島へのミサイル基地づくりが進められています▼台湾のために日本が米中戦争に巻き込まれるなどあってはならない。日本の最大の輸出国は中国で（22%）、また最大の輸入国も中国で（25.8%）、日中は最高の貿易パートナーです。日中の火種「尖閣諸島」についても両国の率直な話し合いで解決すべき時であると思います。日中戦争など絶対にあってはならないと思う新年です（S・A）

原発新設 60年超運転

政府が方針と行程決定

政府は12月22日、「GX（グリーン）トランスフォーメーション」実行会議（議長・岸田文雄首相）を開き、原発の新規建設推進や60年超の運転を認めることなどを盛り込んだ、脱炭素社会実現のための基本方針と今後10年間の工程表を決定しました。東京電力福島第一原発事故後の政府の原発政策を大きく転換するものです。日本共産党の笠井

8月のGX実行会議で検討を指示してから、わずか4カ月。国会にもはからず国民的議論もなく、原発推進・容認の委員が多数を占める経済産業省の審議会で議論を進めてきました。

方針は、ロシアのウクライナ侵略で緊迫化するエネルギー情勢を口実に、将来にわたり原子力を活用するとし、これまで「想定していません」としてきた新規の原発について「開発・建設に取り組み」「まずは廃止決定した炉の建て替えを対象として具体化を進めていく」と明記しまし

また、既存の原発を可能な限り活用するとして、福島原発事故の教訓を踏まえて定められた「原則40年、最長60年」と定める現行の運転期間ルールを変更。審査などで停止した期間を除くことで、例えば10年間停止した場合、運転開始から70年まで運転が可能になります。

このような「原発回帰」は、再生可能エネルギーの普及・拡大の妨げとなり、気候危機を打開し持続可能な社会をめざすうえでも重大な逆流になります。（H・H）

はけの道で メジロと出会う

昨年十二月の半ば頃、市役所からの帰り道、五本松公園へ登る道に出る手前で、柿の実が色づいているのを見て、スズメかと思つてよく見ると、メジロの群れでした。立ち止まつて見上げると、群れは散り散りに飛び去りました。逃げずに柿の実に頭を突っ込んで、頭を出しているのを見て、カメラを向けました（写

真。柿の実が大好物だ

と。口は同じ枝に止まつて押しくらくら頭をする習性があるそうです。ここから「めじろおし」という言葉ができたことと事典にありました。歩いてきた道は、「はけの道」といわれ、滝不動、桃山公園、香取神社、鳥の博物館、寿の子ノ神大黒天、旧村川邸、志賀直哉邸跡などをつな

ご道です。はけの道の「はけ」とは（関東から東北地方にかけて）丘陵山地の片岸。ばっけ。Ⅱ広辞苑による。我孫子市では台地の南側にあり、昔から集落をつなぐ道として利用されてきたそうです。根戸

の柏市との境近くにあり、冬の日だまりを求めて散策するのも



いのではないでしょうか。（O・T）

※法律相談（相談無料）岩井事務所にて毎月第4木曜日（2時〜4時）開催しています（事前にご連絡ください）

文芸欄

※寄稿・投稿をお待ちしています

短歌

正月の空紺碧に深く澄む
一年の計確と成りたり

七丁目

山野 美津

正月の光の中の茜富士
澄みきつた空に頂きは聳つ

五丁目

鈴木 明

俳句

カレンダー新しくして先ず煎茶

三丁目

松永美穂子

ジグザグに登る雪道初日の出

四丁目

松風 彦左

川柳

昔醜の楯今外国の楯

四丁目

松風 彦左

トラスル多い「不

用品回収」に注意

自宅の整理、引っ越しなどで不用品回収サービスに依頼する前に注意して下さい。近頃、インターネット、チラシ広告で「軽トラツクパック7千円、2トン車パック2万5千円」を見て「バック料金でお願いします。」と申し込み、当日全て積み込みが終わり、何と25万円を請求された例があります。積み込み開始前に「クーリングオフは出来ません」

の契約書にサインをしたことと、今さら不用品を家に戻す気持ちも無く身内から借財して事なきを得たという事です。この様な例を含め消費生活センターへの相談が増えていきます。

くれぐれも、不用品処分は、クリーンセンターへ相談し、廃棄物処理業者へ依頼する場合は、複数の会社から見積もりを取り、料金を確認することが大切です。（O・I）

政治革新の道しるべ、
真実をつたえ希望をはこぶ新聞です
日刊紙●月 3497円
日曜版●月 930円

しんぶん赤旗